

ぬまぐち なみこ
沼口 奈美子さん

社会福祉法人ふるさと 介護員養成研修センター管理者

1979年生まれ。根室市出身。祖母が入居したグループホームで笑顔の素敵な介護士さんと出会ったことがきっかけで10年前に介護の世界へ。現在は介護員養成業務のほか、様々な資格を生かし介護予防にも取り組み、介護現場のイメージアップに奮闘中。



ひとりでも多くの方に元気と笑いを届けたい

きっかけ

祖母がグループホームに入居し、素敵な介護士さんに出会いました。私は、認知症を患う祖母に対し「なんで」「どうして」という思いでしたが、その介護士さんは祖母を丸ごと受け止め、私たち家族に対していつも笑顔で接してくれました。そんな仕事姿を見るたびに「私も介護の仕事がしたい!」と強く思うようになりました。ちょうどホームヘルパー2級講座の記事を見つけ即応募、受講後はすぐにデイサービスのパートとして働き始めました。

満足度

現在、施設の介護員養成研修センターで管理者として受講生募集の営業からカリキュラムの作成、研修の講師まで務めています。

更に、帯広市の一般介護予防事業「げんき活動コース」を担当。「機能改善体操ボディキネシス@」「脳活性化メソッドシナプソロジー@」「笑いヨガ」の資格を活かし、「身体機能のため運動」というより、「笑う」「楽しむ」ことを大切にしています。講座の仲間とお茶して帰る、ほかのサークルと一緒に通うことになった、といった声を聞くととってもうれしくなります。

苦労

介護の現場で働く中では正直、苦労という苦労は感じたことはありません。

でも、「明るいキャラ」なんて言われることが多いですが、私自身、本当は人見知りなんです。会話の糸口になるよう、覚えてもらえるよう、芸人ばりのコスプレなんかで工夫もしています。そのかいあって(?)帯広ではある程度認識いただけてるかなあと感じますが、他の地域の講習では完全アウェイ。でもその冷えた空気をひっくり返すのが面白いし、自分のスキルアップになるんです。結局苦労は感じてないのかもしれないですね。

これから

やっぱり一般的には「介護の仕事は大変」というマイナスイメージがあると思うんです。このイメージを少しでも明るくしたいと願っています。

それから、介護予防教室の参加者から色々な生活の悩みを打ち明けられることがありますが、対応はできないことに歯がゆさを感じていました。そんな中、2年前から帯広市の「地域支え合い推進員」を担い、住みやすい地域づくりのための具体的な取り組みが進行中です。介護のジャンルにとらわれず、いろんな世代、いろんな状況の人が住みやすい地域をつくることにも取り組んでいきたいと思っています。

経験は財産です。出会いは宝です。誰と出会うかで人生は大きく変わると感じています。たくさんの人とつながりを持ち、仲間を増やしてください。一度きりの人生です。少しの勇気で一步踏み出してみませんか?